

氏名 点/100点

【問1】 次の各文の内容が正しい場合は「○」を、間違いの場合は「×」を答えなさい。 [各2計40]

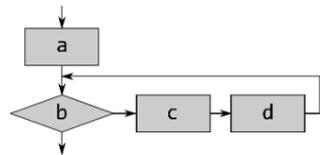
- 論理演算子&&は「かつ」の演算を行います
- 論理演算子の演算結果の型は int 型です
- 論理演算子はすべて2項演算子です
- switch 文は繰り返し文の1つです
- for 文は後判定ループです
- do while 文は前判定ループです
- for 文の条件式を省略すると常に true となります
- 後判定ループは必ず1度は繰返し処理部が実行されます
- 前判定ループの繰返し回数は常に偶数回です
- 変数のスコープとはその変数を参照可能なコード上の領域です
- 配列は同じ型の複数の変数を管理できます
- 1次元配列の最初の配列要素の指定は添え字に0を書きます
- 1次元配列の配列変数に.lengthをつけることで指定可能な添え字の最大値が得られます
- 1次元配列の添え字に-1を指定すると最後の配列要素を参照できます
- 2次元配列は配列の初期化を行うことができません
- 2次元配列の配列要素を指定するには2つの添え字が必要です
- 配列変数は基本型変数の1つです
- 基本型変数には int 型や double 型があります
- クラスのメンバの数に制限はありません
- クラスは異なる型の複数の変数を管理できます

■解答欄 1

1 ○	2 ×	3 ×	4 ×	5 ×
6 ×	7 ○	8 ○	9 ×	10 ○
11 ○	12 ○	13 ×	14 ×	15 ×
16 ○	17 ×	18 ○	19 ○	20 ○

【問2】 次の for 文の構文とフローチャートです。各式や条件、文が対応する位置をフローチャートから記号で選びなさい。 [各2計8]

構文 for(初期化の式 ; 条件 ; 更新の式) 文;



■解答欄 2

1 初期化の式 a	2 条件 b	3 更新の式 d	4 文 c
-----------	--------	----------	-------

【問3】 論理演算子を用いたコードです。各コードを実行した直後、変数 b が true となるよう空欄を true または false で埋めなさい。変数 b が true にならない場合は「×」を答えなさい。 [各2計10]

- boolean b = (! (1)) == (1);
- boolean b = false || (2);
- boolean b = (false == (3)) && false;
- boolean b = (false && false) || (4);
- boolean b = (true ? false : true) == (5);

■解答欄 3

1 ×	2 true	3 ×	4 true	5 false
-----	--------	-----	--------	---------

【問4】 次の配列の初期化を行うコードです。配列を初期化した後に以下の各コードを実行したときの画面出力を答えなさい。 [各2計12]

```
int[] ary1={1,2,3};
int[][] ary2={{0,1},{2},{3,4,5}};
(1) System.out.print(ary1[1]);
(2) System.out.print(ary1[ary1[1]]);
(3) System.out.print(ary1[ary1.length-1]);
(4) System.out.print(ary2[0][1]);
(5) System.out.print(ary2.length);
(6) System.out.print(ary2[2].length);
```

■解答欄 4

1 2	2 3	3 3	4 1	5 3	6 3
-----	-----	-----	-----	-----	-----

【問5】 下のコード 1 において [★] の部分を(1)~(4)のそれぞれに置き換えて実行したときの画面出力を正確に答えなさい。ただし、空行は記号"]" 用いて記載すること。 [各2計8]

- if(i==j)continue;
- if(i>j)continue;
- if(i==1)break;
- if(j==1)break;

■コード 1

```
01: for(int i=0;i<3;i++){
02:   for(int j=0;j<3;j++){
03:     [ ★ ]
04:     System.out.print(j);
05:   }
06:   System.out.println();
07: }
```

■解答欄 5

1 12	2 012	3 012	4 0
02	12]	0
01	2	012	0

【問6】 次の変数に関する説明文です。選択肢より適切な単語を選び空欄を埋め説明文を完成させなさい。空欄 [5] は数値を答えなさい。 [各2計10]

【変数について】
 変数には [1] 変数と [2] 変数があります。int 型や double 型の変数は [1] 変数であり、[3] 変数やクラス型変数は [2] 変数です。基本型変数には値が格納され、参照型変数には値と変数を関係付ける [4] が格納されます。例えば、コード 2 を実行したとき a[1] の値は [5] です。

■コード 2

```
1: int[] a={1,2,3};
2: int[] b=a;
3: b[1]=0;
```

■選択肢

int 型 基本型 参照型 配列 添え字 参照 クラス オブジェクト

■解答欄 6

1 基本型	2 参照型	3 配列	4 参照	5 0
-------	-------	------	------	-----

【問7】 次の 1 から a の a 段階評価のアンケート結果を集計するコードと実行結果である。ここで a は配列に格納されているアンケート結果の最大の値とする。空欄を適切に埋めてコードを完成させなさい。 [各2計12]

■コード 3

```
01: class Final07{
02:   public static void main(String[] args) {
03:     [ 1 ] data={1,3,5,2,1,3,4,1,7,7,3,4,5,3,3,2};
04:     int choices;
05:     int[] results;
06:     choices=data[0];
07:     for(int d:[ 2 ])
08:       if(d>choices)choices=d;
09:     results = [ 3 ] int[choices];
10:     for(int d:data)
11:       results[ [ 4 ] ]++;
12:     for(int i=0;i<results.[ 5 ];i++)
13:       System.out.println("選択肢"+(i+1)+" : "+results[ [ 6 ] ]+"件");
14:   }
15: }
```

■実行結果

選択肢 1 : 3 件
 選択肢 2 : 2 件
 選択肢 3 : 5 件
 選択肢 4 : 2 件
 選択肢 5 : 2 件
 選択肢 6 : 0 件
 選択肢 7 : 2 件

■解答欄 7

1 int[]	2 data	3 new	4 d-1	5 length	6 i
---------	--------	-------	-------	----------	-----

「お疲れ様でした!!」

☆☆独自アンケートへの回答のお願い☆☆

本講義で実施しました裏面記載の各取り組みについてみなさんのご感想を是非お聞かせください。
裏面の各項目について5段階でご記入をお願いします!!
 ※みなさんの成績には影響しません